

消防防災ヘリコプターの運航体制について

長野県危機管理部消防課

1 運休について

(1) 概要

平成30年2月からリース機による運航を続けているが、令和元年7月から耐空検査等点検整備のために運休となり、12月に検査合格したものの、運航業務受託者から修理状況に確認できない点があるとの意見が出された。

本年4月に整備士2名を採用し、書類確認及び現地調査を実施したところであるが、その結果を踏まえ、対応を検討している。

※確認を要する主な項目

- ・溶接修理等の詳細を示す資料
- ・自動操縦装置のエラーメッセージ表示

(2) 経過

- R元年7月10日 機体を和歌山県南紀白浜空港へ空輸 (①耐空検査整備②不具合修理を発注)
- 12月10日 耐空検査受検【合格】
- 12月27日 第1回現地調査 (和歌山県南紀白浜空港)
- R2年2月26日 第2回現地調査 (和歌山県南紀白浜空港)
- 4月1日 以降、県職員整備士による書類確認
- 6月3日 第3回現地調査 (和歌山県南紀白浜空港)

2 操縦士の採用について

(1) 職員体制 (R2. 8. 1 現在)

操 縦 士	整 備 士
機長 (航空指導幹) 0名 (欠員)	航空整備士 (主任航空専門員) 1名
副操縦士 (主任) 1名	航空整備士 (主査) 1名
訓練生 (技師) 1名	訓練生 (技師) 1名

(2) 操縦士の募集

- ア 採用予定人員 若干名 (機長)
- イ 採用予定日 令和2年10月1日
- ウ 募集期間 令和2年6月19日～令和2年7月20日

(3) 目指す姿

自主運航による安全で安定した消防防災航空体制を確立するため、県職員の操縦士4名及び整備士4名の体制を目指す。

3 新機体の配備について

- ・平成30年12月に契約した新機体 (ベル式412EPI型) は、今年10月末に納入される予定。
- ・納入後、慣熟訓練及び自隊訓練など必要な訓練を実施し、目途がつき次第、運航を再開したい。